

項目	内容
名称	卵黄油 [英]Egg Yolk Oil、Oil of Charred Egg Yolk [学名]
概要	<p>卵黄油は、卵黄中の油を加熱処理等にて抽出したものを指す。家庭でも作られ利用されており、家庭では生卵黄を長時間加熱して水分を蒸発させながらタンパク質を焙炒、凝固させて油を分離し作製する焙炒法が、工業的には主に溶媒抽出法が一般的なようである。焙炒法にて抽出した卵黄油は褐色で、「卵黄の黒焼き」などと呼ばれていた。</p>
法規・制度	<p>■ <b>食薬区分</b> 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。</p> <p>■ <b>食品添加物</b> ・ 既存添加物 卵黄レシチン（レシチン）：乳化剤</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ レシチン（78）、脂肪酸（リノール酸、リノレン酸など）（101）を含む。
分析法	<p>・ 卵黄油中の脂肪酸組成をGC法（101）およびTLC-FID法（102）にて分析した報告がある。</p> <p>・ 瓶詰およびカプセル剤として製造されている卵黄油製品中のビタミンEをHPLC法にて、脂肪酸およびコレステロール量をGC法にて分析した報告がある（1990123947）。</p>

・卵黄油中の複素環アミン変異原物質をHPLC法にて測定した報告がある  
([PMID:2184352](#))。

有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)  
(1990123249) 食品衛生学雑誌.1989;30(2):146-51.
- (78) 食品添加物インデックスPLUS [第4版] 和名・英名・E No.検索便覧 (公社)  
日本輸入食品安全推進協会 中央法規
- (101) 日本栄養・食糧学会. 1994;47(1):49-54.
- (102) 文教大学教育学部紀要. 1994;28:138-42.
- [\(103\) 食品中ダイオキシン類濃度測定結果](#)
- (104) 食品と開発. 1998;33(1):46-50.
- (1990123947) 熊本県衛生公害研究所報. 1998;(18):23-4.
- (2006043101) 環境と病気. 2005;14(1～2):11-7.
- [\(PMID:2184352\)Mutat Res. 1990 Apr;240\(4\):259-66.](#)